

子育て支援対策として 給食費・保育料の減額を

浅見 たけし 議員



Q 1世帯の同時就学児2人目以降の給食費を半額に、また2人以上保育所に同時入所している場合は、2人目以降の保育料を無料にしてはどうか。

A 町長 保育者負担の軽減を継続していきたいと考えている。

Q 安中市では、子育て応援特別手当3万6000円について

A 町長 国において検討されていることから、給食費、保育料の減額を求める。

A 町長 国において検討されている、子ども手当の今後の動向を見守る中で、検討していく。

Q 給食費が半額となる対象者は全体の約36%、必要予算は約2800万円。保育料が無料となる対象者は全体の約18%、必要予算は約1360万円である。事業仕分けを行い、来年度予算に盛り込んでいきたい。

A 町長 財政健全化の観点から、行政全般を再度見直した中で、検討したいと考える。



おいしいおやつを“いただきます”

玉村町はどう進むか、 町長の考えを問う

柳沢 浩一 議員



Q 町長の基本的な政治姿勢であるから聞いておきたい。さきの衆議院選における笹川氏支持と、その後、上毛新聞の民主党マニフェストに対するアンケートでの答えは矛盾しているのではないか。

A 町長 政治家としての笹川氏を尊敬しており、また町としてもいろいろお世話に

Q 町長の皆さんは、現状の自立で、「これからもやっていけるのかどうか」不安を感じているが大丈夫か。

A 町長 町の財政は、県内町村ではトップクラスであり、周辺市にも負けない内容である。当面は自立でやっていける。財政力を示す各種の指数はよい結果だが、

A 町長 子育て、教育、福祉など、高崎市や伊勢崎市などと比較しても負けないだけの仕事をしてきたつもりだ。

Q 貫井町政となつて5年が経過したが、ほかにない誇りうる政策、事業はあるか。

A 町長 県下町村の中ではどこにも負けない

ように頑張る。またリーダーとして、さらなる安心・安全で健康な玉村町を目指して邁進していく。



新型インフルエンザの予防には、できる限りの対策を



高橋 茂樹 議員

Q 新型インフルエンザの、今後の予防策は万全か。

A 町長 町としては、新型インフルエンザワクチンの接種が円滑に行われるように、広報紙やホームページ等で、ワクチン接種に関する情報を提供している。生活保護世帯、市町村民税非課税世帯の方を対象に、ワクチン接種料金を

免除する。保健センターに新型インフルエンザ相談室を設置し、相談に応じている。

全額免除する。保健センターに新型インフルエンザ相談室を設置し、相談に応じている。

Q 子どもたちが安全に通学できるための、今後の防犯灯設置計画は。

A 町長 防犯灯の整備は、通学路を中心に計画的かつ積極的に進めていく。設置する照明器具は、LED（発光ダイオード）を採用し、切りかえも含めて省エネにも取り組んでいく。

個人が太陽光発電設備を設置する補助制度を開始した。1キロワットあたり3万円とし、限度額は9万円である。当初の予測を上回る設置数であり、今後も多くの方に利用してい

A 町長 当町では、平成21年4月1日から、

Q 太陽光発電の設置に対する補助体制が近隣自治体より遅れているが、普及のためさらに強めるべきだ。新年度予算に向けての考えを問う。

A 町長 太陽光発電の設置に近隣自治体より遅れているが、普及のためさらに強めるべきだ。新年度予算に向けての考えを問う。



屋根と一体型のソーラーシステム

第5次総合計画の策定についての考えは



島田 榮一 議員

Q 第4次総合計画の最終年度は平成22年度である。人口は4万2000人を想定していたが、現実の人口は3万8000人前後であり、少子高齢化が顕著になってきた。将来構想とあわせ、大きく見直す必要があるのではないか。

A 町長 少子高齢化社会の到来、社会経済状況の変化等を十分踏まえた上

で、将来を見据えた計画を策定したい。

Q 策定方法はどのように進めるか。

A 町長 既に住民意識調査を行っており、住民の方からまちづくりに対する提案を広く募集し、パブリックコメント等を実施して、よりよい総合計画を策定したい。

Q 玉村町は立地条件等、恵まれた町である。特色があり魅力あるまちづくりの方策はあるか。

A 町長 大きな市に囲まれた位置的な特性を活かし、自然や公園など緑のある住環境に配慮するとともに、産業振興も積極的に進めていきたい。

Q 玉村町には、団塊世代の優秀な人材が数多くいる。この人材を積極的に活用していくことが真のまちづくりではないか。

A 町長 企業を退職された団塊世代の方の豊富な経験、専門的な知識等をまちづくりに活かして



期待される第5次総合計画